

第 67 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 5 年 12 月 27 日(水)午前 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 5 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、安達克典、橘智史、

小倉拓、浅山誠一

欠席委員の氏名 畠守彦

放送事業者側出席者氏名 泉清、安田豊、安田正、

生田奈穂、濱田由希子

欠席者氏名 洞周作、大崎健志

議題 1) 局側挨拶（現状報告）

2) 議題

☐番組聴取

12 月 9 日(土)12 : 00～14 : 54 に放送しました特番「世界遺産学習全

国サミットラジオ」のダイジェスト音源をご聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

みなさんお忙しいなかお集りいただきありがとうございます。終わ
りよければということで、今年一年これで良かったのかなと。良い
正月を迎えたいと思います。FM TANABE といたしましては、12 ヶ
月間無事に放送も出来ましたし、昨年放送した弁慶記も今年いろん
な放送賞をいただきまして、その都度ご報告もさせていただきました。
皆さんにも祝賀会に出席いただきありがとうございました。そ
れに基づいてプロジェクトも動き出すという事でやっております。
社内も床も含めいろんな整備を行っています。来年は開局 15 年目
に入っていきますので、しっかりとやっていきたいと思います。

2. 議題

～番組聴取～

野村：小中学生、気後れせず元気よくお話されて素晴らしいの一言で
す。レポーターの方も良かったですね。しかし、こういった大会が開
かれているのは知らなかったです。教育委員会が主催されていたの

ですか？

生田：はい。主催は、世界遺産学習サミット実行委員会となっていますが、これが田辺市教育委員会になります。

橘：僕もこの大会が開催されているのは知ってるような知らないような感じで、たまたま新聞で地元の中学生が出るというのを見たので行きたいなと思っていたのですが都合が合わずで。以前、同じような熊野古道をテーマにした発表会をされていたのを見た時は子どもたちが一生懸命ですごい良いなと感じたので、今回も気になってはいました。ですので、このように盛り上がっていたというのがラジオを通してわかったのがすごく良かったのと、やっぱり見に行きたかったなと感じました。

生田：今回の取り組みが行われていることを知らない人も多かったと思いますので、**FM TANABE** を聴いてくださっている方にお届けする事が出来て良かったです。

安達：子どもたちのワクワク感とか緊張感がよく伝わってきました。パーソナリティさんの聞き方も上手で、子どもたちが素直に答えていたのが良かったです。あと、僕も 10 年間龍神村の田んぼアートに関わってきましたが、実際子どもたちはどんな風に感じているのか

なっているのは気になっていて。今回のインタビューで答えられていたように地域の誇りと言ってくれていたのも、本当にやって良かったなってラジオを通じて思いました。ありがとうございます。

浅山：教育委員会系のお堅いサミットに、ラジオが関わる事が出来ているのが凄いなと感じました。どうしても小学生とかいたら閉鎖的にされることもあるかなと思ったのですが、このように生放送でオープンにされているのが凄くいいなと感じました。

泉：特に今年くらいから、学校との関りが増えてきましたよね。

生田：そうですね。ここ1～2年くらいで学校への取材させていただく事がかなり増えまして、この番組審議会でご意見いただいたことなども取り入れながらさせていただいております。そういった活動もあって、教育委員会との関係性が深まって今回の番組にも繋がったのかなと感じております。

野村：会場の壇上で放送していたのですか？

生田：いえ、壇上は子どもたちの発表する場になっていましたので、会場の入り口にスタジオを設置させていただきました。

野村：現場でやっているような雰囲気でしたね。

生田：ありがとうございます。ダイジェスト音源で炭琴の演奏を聴い

ていただきましたが、これは会場の音を直接ケーブルで繋いでこちらの機材に音をもらって録音した音源をその場で編集して流すというのを同時進行でやっていました。

橘：そういうのは嫌がらずにやってくれるのですね。

泉：紀南文化会館さんは、快くやってくださいます。

橘：会場の中までいってリアルタイムで生中継というのは、なかなか難しいですか。

泉：会場の進行上、邪魔になってしまうので難しいですね。

生田：発表会ですので、会場で何かやっている時に別で音を発するのは難しいかと思いますので、現地レポーターが自由に会場を動き回ってくれていて、その発表しているところを見てその様子をスタジオに戻ってからレポートするとか、ポスターセッションなどの展示会場でしたらお客さんに話が聞けたので、そういった場所ではその場で生中継でレポートするといったかたちを取りました。

小倉：子どもたちが出演されていたところは、ワイワイガヤガヤ楽しそうにされている感じが良かったなと思いました。先ほど、会場の音をいただいてってお話がありましたが、映像も出来るのですかね。例えば、会場外でモニターで映して中の様子を実況して感想など言え

たら、よりリアルタイムで出来たらおもしろいなと思いました。

泉：そうですね。許可いただけたら出来なくはないですね。

小倉：長い時間放送されていましたが、語り部の発表とかもフルで流されたのですか？

安田正：3日間ありまして放送当日は本部でやりましたが、その前に行われていた研究授業も取材に行きましたし、本宮大社と闘鶏神社の宮司さんにも世界遺産のサミットについての事前収録も行いました。放送当日、生で演奏している時は話が出来ないのでその間に、事前収録の音源などを織り交ぜて、実際舞台発表する前の子どもたちとか終わってきた子たちを入り混ぜて3時間放送しました。出来上がったものは、1日目と2日目と事前収録したインタビューを放送しているので結構密度の濃いものに仕上がっています。

生田：演奏の音源は追っかけで放送したのですが、語り部の子たちの発表は放送していません。ただ、発表前にラジオに出演してもらって各学校がどんな発表をするのか一部だけになりますが、本番前に一回練習出来る場みたいな感じで披露していただきました。

小倉：どんな様子だったのがフルで聴いてみたかったなというのはありますね。結構な分量にはなるかと思いますけど。

安田豊：皆さんご意見いただきありがとうございます。今回の教育サミットは、田辺市教育委員会特に佐武教育長が大変力を入れて取り組まれていて、事前取材の依頼をいただいていたので、FM TANABE としてもかなり気合いを入れて取材をして放送もしました。当日の放送音源を CD にして関係者にお配りしたところ、大変喜んでいただきました。教育委員会や各出演いただいた学校の皆さんに、後から聴いていただけるような工夫もしております。今回のサミット特番、全体としては好評をいただいたと思っておりますが、今年は、野球中継以外にも田辺祭や弁慶映画祭、弁慶まつり…いろんなところの中継しました。来年以降も出来るだけこういった機会を増やしていきたいと思っています。今日皆さんからいただいたご意見も参考にしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

安達：今年、和歌山ウェイブスがリーグ優勝を果たしましたが、中継

もずっと追いかけてされてきていたので良かったんじゃないかなと思います。来年度は、熊野古道が世界遺産登録 20 周年の節目の年になってくるので、まだ何をするか表面に出てきてはいませんが出てきたら、いろんな番組も出来るのかなと楽しみにしています。

浅山：先日ケンブリッジ飛鳥選手がこちらに来られているのを新聞で見ましたが、そういう方のインタビューが取れたらすごく良いなと思いました。あと、田辺高校野球部が春の甲子園出場校に選ばれる可能性があるのもそちらも追いかけていただきたいのと、社会人野球もいろいろネックになっていることも多いので、盛り上げるために何かしらコラボできたらいいなと思っています。文化的なところで言いますと、田辺市の文化賞とか毎年されているので受賞された方にもラジオに登場していただけると、より一層広がるんじゃないかなと思います。

小倉：「YOU は何しに日本へ？」のラジオ版みたいなのがあれば面白いかなと。田辺駅前とかガルテンとかで海外の観光客を待ち構えて収録したものを集めて特番をされとか、英語講座なんだけどただの英語講座じゃなくて、熊野古道に関することとか英語のフレーズだけでなくコミュニケーションのとり方とか気軽に出来る英語

講座があれば定期的に聴いてくれる人もいるんじゃないでしょうか。

僕らなんか日常会話の英語でも分からないのに、伝統であったり地域性の高いものの英語だと余計分からないので、そういうものに特化したものがあれば良いかなと思います。

泉：本宮ではジュニア語り部でも英語で案内されていて聞かせてもらった事ありますが。普通使わない知らない言葉が多いですね。

生田：以前、駅前で外国人観光客の方に梅干しを食べてもらった感想を聞くというインタビューをさせていただいた事があったのですが、編集も大変で英語が出来るのが大崎しかいないので負担が大きくて継続出来ていないところではあります。ラジオに英語を取り入れていくというのも、なんらかの形でやっていけたらいいなと思います。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月

日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし